

袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会議名	平成30年9月 袋井市教育委員会 定例会
招集日時	平成30年9月26日（水）午後1時30分
会議時間	午後1時30分から午後3時40分まで（2時間10分）
場所	浅羽図書館 視聴覚室
出席者	鈴木典夫 教育長 前嶋康枝 委員 上原富夫 委員 豊田君子 委員 大谷純應 委員（午後1時58分～） （計：5人）
欠席者	無し
傍聴者	1人
当局出席者	伊藤秀志 教育部長 本多晃治 教育企画課長 川村佳典 おいしい給食課長 乗松里好 すこやか子ども課長 加藤邦夫 育ちの森所長 平野邦孝 学校教育課長 杉山明子 生涯学習課長 山本義孝 歴史文化館長 野村浩二 袋井図書館長 荻原規代 教育企画課教育総務係長 （計：10人） （合計：15人）
会議に付した事件	別紙「平成30年9月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」のとおり

平成 30 年 9 月 袋井市教育委員会定例会 日程

日時：平成30年 9 月26日(水)

午後 1 時30分開会

場所：浅羽図書館 視聴覚室

会 議 日 程

日程第 1 開 会

日程第 2 会議録署名委員の指名

日程第 3 会議録の承認

日程第 4 教育長報告

日程第 5 教育部月例事業報告

日程第 6 議 事（会議に付すべき事件）

（1）議決事項

~~取り下げ~~議第 14 号——袋井市立小中学校管理規則の一部を改正する規則について

~~取り下げ~~議第 15 号——袋井市立小中学校処務規程の一部を改正する訓令について

（2）報告事項

報第 79 号 平成 29 年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

報第 80 号 袋井市教育施設等 3R プロジェクト（中間報告）について

報第 81 号 「イングリッシュ・デイキャンプ in ふくろい」事業報告について

報第 82 号 平成 30 年度 袋井市少年補導センター祭典補導体制について

報第 83 号 平成 30 年度 子ども自然観察教室の開催状況について

報第 84 号 平成 30 年度 静岡理工科大学市民体験入学の開催結果について

日程第 7 その他

（1）連絡事項

ア ラグビーワールドカップ 2019 各国料理の給食提供について

イ 第 11 回袋井市子育て支援センターフェスティバル

ウ （仮称）袋井南認定こども園通信

エ 歴史文化館「久野城展」案内チラシ

オ 袋井市立図書館だより「ふくぶっく」平成 30 年 10 月号

(2) 次回定例会等の予定について

10月教育委員会定例会 10月31日(水) 午後1時30分～ 袋井市役所302会議室

(3) その他

磐田市・袋井市・森町教育委員懇談会

10月10日(水) 午後1時30分～ 森町文化会館

袋井市教育委員視察研修

10月26日(金) 午前10時～ 京都教育大学附属桃山小学校

第2回袋井市総合教育会議

11月1日(木) 午後1時30分～ 袋井市役所4階庁議室

日程第8 閉会 (午後3時40分閉会)

平成 30 年 9 月 袋井市教育委員会定例会 会議録（要旨）

1 開会

●鈴木教育長

ただ今から、平成 30 年 9 月袋井市教育委員会定例会を開会いたします。

本日は、まもなく大谷委員がみえ全員出席です。

議事がスムーズに進行できますよう、ご協力をお願いいたします。

2 会議録署名委員の指名

●鈴木教育長

袋井市教育委員会会議規則第 16 条第 2 項の規定に基づき、前嶋委員 及び 上原委員 を指名いたします。

3 会議録の承認

8 月定例会の会議録について承認されています。

4 教育長の報告

●主な報告事項

- ・ 定例校長会 (8 月 30 日)
 - ・ 袋井南中学区講話 (9 月 5 日)
 - ・ 市議会一般質問 (9 月 11 日～13 日)
 - ・ 浅羽佐喜太郎公碑建立 100 年記念式典 (9 月 22 日)
- その他は資料のとおり

5 教育部月例事業報告

●教育企画課

- ・ 市議会民生文教委員会委員と教育委員会委員との意見交換会 (8 月 28 日)
- ・ 浅羽中学校 校舎改築等プロポ第 3 回選定委員会 (9 月 10 日)

●生涯学習課

- ・ 『Magic Town』 あいち国際女性映画祭 2018 上映 (9 月 5 日～ 9 日)
- ・ 子ども自然観察教室「アカリガメの放流」 (9 月 8 日)
- ・ 『Magic Town』 星満夜 星空映画会 (9 月 16 日)
- ・ 浅羽佐喜太郎公碑建立 100 年記念式典 (9 月 22 日)
- ・ 第 2 回次世代リーダー育成塾ワークショップ (9 月 29 日)

- ・『Magic Town』京都国際映画祭 2018 上映 (10月11日～14日)
- ・袋井まつり等祭典補導 (10月6日～7日、13日～14日)
- ・子ども自然観察教室 (化石教室) (10月27日)

[質疑・意見]

なし

6 議事

【議決事項】

- (1) 議第 14 号 袋井市立小中学校管理規則の一部を改正する規則について
《説明者：学校教育課長》取り下げ
- (2) 議第 15 号 袋井市立小中学校処務規程の一部を改正する訓令について
《説明者：学校教育課長》取り下げ

【報告事項】

- (1) 報第 79 号 平成 29 年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

●教育企画課長

本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、平成 29 年度の本市教育委員会が行った事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、市議会に報告するとともに市民に公表するものです。

昨年度の点検評価との変更点は、教育大綱及び袋井の教育に沿った項目での評価となるよう構成を変更し、より分かり易い点検評価となるよう見直しをしたことと、各課の事業については市の総合計画政策評価結果と同様であるため、重点施策の指標と実績値を掲載としたことです。

また、本件に係る学識経験者の知見の活用については、静岡大学教育学部 鈴木秀志特任教授にアドバイザーとして御意見をいただきました。総合的な評価を 15 頁に掲載し、全 18 頁の報告書にまとめましたので報告いたします。

詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]

●前嶋委員

8 頁の 3 の教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務の評価について、基本方針 2 の評価は重点施策 4 のみのため C 評価ですが、評価指標のない重点施策 5（育ちの森）を載せると評価が上がるのではないのでしょうか。

●豊田委員

見る側とすると指標がないから掲載がないとは思わず、事業をやっていないものだと感じます。何らかの形で載せておいた方がよいと考えます。

●前嶋委員

重点施策 5 については、育ちの森での取り組みの成果が表れていたらよいと思います。

●豊田委員

今までも指標として数値で表せないものをどう評価しようかと議論してきていましたが、何らかの形で表現できるとよいと思います。

●上原委員

評価基準がないということは、やる気がないととられてしまいます。

●大谷委員

ある程度やっているということがわかるもの、利用者とか探したら数値化できるものがあるのではないかと思います。

●すこやか子ども課

アンケート調査の結果では、育ちの森を利用して子供の様子が変わったとか保護者の意識が変わったというものがあり、数値で表すことはできるかと思います。

●上原委員

数値結果を表すだけでは評価ではないと思います。最初に立ち上げて何かよくなることを具体的にやってみよう、やれるものがあるのではないかという意図で目標を作るわけだから、

実質、育ちの森を利用したり関与した方から何がどう変わったかとか何を変えられたかとか意見をいただいたとか別表でもつけておかないと何もやっていないと思われてしまいます。

●教育企画課長

重点施策については報告書の5頁にあるように「平成29年度袋井の教育」に沿って実施しており、全てが数値目標をもっているわけではないということをご理解いただきたいと思います。

●教育部長

報告書の仕立てについては、市の総合計画での指標（教育だけでなくあらゆる市の業務）の抜粋のため、いくつか抜けているものがあり、アドバイザーからの指摘のように、指標がないものでも教育委員会として目標をもって取り組んでいますので、総合計画の指標にとらわれず12の重点施策について抜けることがないよう評価報告していくのがよいと考えます。

●鈴木教育長

この報告書と総合計画政策評価の報告書と2冊を見ないとわからないということになりますが、昨年の議論では評価はいろいろなところで実施し報告しているので、整理しようということであったかと思えます。

これは教育委員会の報告書ですが、事業については市全体の報告書の中に同じ項目があるので、二重に評価することはないから、評価として市全体の報告書を使いましょうという方向で今年の報告書が作られたわけです。数値目標に限って評価すると、皆さんから意見があるように数値目標がない重点施策の事業は実施していないのかと思われるということです。

それでは、改善として8頁には数値目標がないものも取組を表記し、14頁の指標欄は斜線にするなど一通り載せておくようにするのがよいと思います。

●教育企画課長

ご意見いただきましたように、8頁には重点施策の全てを数値目標がないものも取組を表記するよう対応し、再度、教育委員会へ諮っていきたく思いますのでよろしくお願いします。

●前嶋委員

私たちは、教育に関してもっとやっていると思っていますので、取組の表記や14頁の備考欄への表記をしていただき、重点施策5については、育ちの森での取り組みの成果が表れて

いたらよいと思います。

●鈴木教育長

8、14 頁について、フルラインアップでいきましょう。

今回は昨年度の報告のため、新たな数値目標については来年度に向けての検討となります。

平成 29 年度は、報告の形式についての議論をさせていただき、内容そのものや項目を増やすことは難しいと考えます。

●上原委員

数値目標があるかないかの議論では、基本方針そのものの考え方を変えないと毎年、同じことで議論になるのだと思います。本来の評価の意味は、現場での取組を正しく評価し、改善していくという目的があります。数値でなく事実をどんな風に表記できるか工夫し、事実をいかに評価するのか考えていただきたい。

●鈴木教育長

昨年度は、簡略化という議論となり今年度簡略化しましたが、上原委員の意見は以前のように戻すということでしょうか。

●上原委員

以前のように戻す必要はないですが、全ての項目を表記していただきたいと思っています。

●鈴木教育長

報告書については、毎年議論となり分厚くても読みにくく、簡素化されても分かりにくいところがあり、今ご意見をいただいたように8、14 頁については少し改善をし、14 頁については備考欄等に記載するなど今年度はここまで検討し、これを前提に毎年少し改善していく中で、次の年には数値目標以外のところの項目をどう扱うか、短いコメントで評価できるスペースをとれるかどうか検討しましょう。

平成 29 年度の 14 頁については、備考欄または若干の記述が入れられるかどうか検討し、再度お諮りしたいと思います。

では、こういう方向でよろしいでしょうか。

●上原委員

はい、結構です。備考欄は内実を物語るヒントになりますので、備考欄を活用するとよいと思います。

●鈴木教育長

では、こういう方向で少し検討し再度お諮りします。

(2) 報第 80 号 袋井市教育施設等 3R プロジェクト（中間報告）について

●教育企画課長

本件は、袋井市教育施設等 3R プロジェクト（中間報告）について、本編の内容に沿って作成した「袋井市教育施設等 3R プロジェクト（中間報告）（概要版）」という A3 資料概要版で説明します。

昨年度、3R プロジェクトの基本的な考え方について、計画の触りの部分について説明しましたが、本編がある程度まとまってきたので今回ご説明いたします。

この策定については、昨年 11 月の教育委員会に諮り、今年度内に市議会にかけ策定していくものです。現在の中間報告についての詳細は資料のとおり。

●鈴木教育長

袋井市教育施設等 3R プロジェクトは、個別計画でなく方針です。

具体的には、浅羽中学校の大規模改修改築は、この考えに基づき進められています。今後、幼稚園の統廃合についてもこの考え方に基づき、更に幼稚園では、民間の力をどう活用するかという問題があり、個別計画ではもう少し複雑になっていくものと考えます。

●伊藤教育部長

1 章から 3 章については、公共施設白書（平成 27 年市作成）や総合管理計画（平成 28 年市作成）を受けて、事後保全から予防保全（平成 29 年度予算から）へと変わってきて、このシステムにより施設ごとに簡単なチェックによる管理を毎年行うことで、修繕箇所を把握するもので、教育施設とコミュニティセンターをあわせて方針を定めるものです。

また、法定耐用年数の考え方から目標耐用年数での躯体の維持と細かな修繕による状態管理、時間的な年数の管理と毎年のチェックによる時間管理の組み合わせで進めていく基本的な方針として定めていきます。

個別のものは個別に考えていくという組み立てで本年度中に策定していきます。

[質疑・意見]

●前嶋委員

P. 43 の太陽光パネルの写真のように既に設置されている施設はありますか。

●教育企画課長

袋井南中学校と袋井北小学校に設置してあります。

●前嶋委員

避難場所となった時に電力が活かされてよいと思います。

●上原委員

今年度中に袋井市教育施設等 3R プロジェクトが策定され、個別の公共建築物の事前保全をしながら上手に使っていくというものの考え方ですね。今後、建替の事態となった場合、第二弾第三弾と発達系として考え直していくのですか。

●伊藤教育部長

3R プロジェクト自体を見直すことも個別計画のみを見直していくこともあります。

●上原委員

様々な施設の維持管理に係る経費の平準化については、大きな課題になっていますね。

●伊藤教育部長

公共施設白書によると法定耐用年数での整備では、必要とされる費用が膨大となり、数年で袋井市が破産してしまうことになるため、公共施設についても目標耐用年数による予防保全を計画的に実施し、財政負担の軽減と平準化を相乗的に図っていくというものです。

●上原委員

現状では目標としていても時間に沿ってのチェックや根本的に抽出して調べるということを行っていますか。

●伊藤教育部長

東日本大震災以降では、耐震のチェックを実施し、現在、袋井市において耐震補強の実施さ

れていない施設はないという状況です。

●鈴木教育長

浅羽中学校については、改修と建て直しの部分はコンクリートの強度検査を行い、先日のプロポーザルにて業者選択をしましたが、鉄骨か鉄筋かについては結論は出ておらず、鉄筋の80年より鉄骨の40年のサイクルの方が結果的に経費が抑えられると考えています。

これも含めた総合的な方針となりますがよろしいでしょうか。

(3) 報第81号 「イングリッシュ・デイキャンプ in ふくろい」 事業報告について

●学校教育課長

本件は、8月に実施しました「イングリッシュ・デイキャンプ in ふくろい」事業について報告します。3、4年生は年々参加者が増加しており、外国語への興味や保護者の高い関心から参加者増に繋がっていると思います。5、6年生や中学生については社会体育や様々な活動への参加から本事業への参加者が少なく残念ですが、この事業の効果として、英検チャレンジ事業への取組みに繋がっており、浸透してきていますことをあわせて報告します。詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]

●上原委員

山名コミュニティセンターでの取組を見学させていただいた感想ですが、参加者が多く部屋が狭いのではと感じましたので、予め場所の確保をお願いしたい。

イングリッシュ・デイキャンプの様子をDVD等で小学校の教員や参加できなかった児童生徒へも見せてあげてほしいと思います。小学校の先生にとっては、外国語の指導の際の何かしらのヒントになりためになると思います。

●学校教育課長

会場の確保とDVD等について、検討していきます。

●前嶋委員

小学校の先生も参観していただくとよいですね。

●鈴木教育長

小学校に関しては、現在、外国語の授業で毎時間ALTと一緒に英語が体験できる環境にあります。これも参加者が増えた要因かと思います。よろしいでしょうか。

(4) 報第 82 号 平成 30 年度 袋井市少年補導センター祭典補導體制について

●生涯学習課長

本件は、10月6、7と、13、14日の4日間で行われる袋井秋祭りに、少年補導センターと警察協助手と学警連等が連携し、小中高校生を対象に飲酒喫煙防止などの巡回声掛けを行います。

(5) 報第 83 号 平成 30 年度 子ども自然観察教室の開催状況について

●生涯学習課長

本件は、自然と触れ合う体験、環境保全を学ぶため、アカウミガメの放流を9月8日に実施し、親子200人が参加しました。アカウミガメの生態やそれらを取り巻く自然環境について学習する機会であり、講師はサンクチュアリNPOにお願いし、運営スタッフには次世代リーダー育成塾から10人が参加しました。なお、10月には化石教室を予定しています。詳細は資料のとおり。

●鈴木教育長

今年度始めた次世代リーダー育成塾は、度々紹介していますが大事な活動です。

(6) 報第 84 号 平成 30 年度 静岡理科大学市民体験入学の開催結果について

●生涯学習課長

本件は、大学を活かしたまちづくりの一つとして、8月25日に同大学で開催し170人が受講した結果を報告するものです。詳細は資料のとおり。

●鈴木教育長

報告事項については以上となります。

7 その他

連絡事項について、各課から配付資料のうち主なものについて説明

- ・ ラグビーワールドカップ2019 各国料理の給食提供について
- ・ 第11回袋井市子育て支援センターフェスティバル
- ・ (仮称)袋井南認定こども園通信
- ・ 歴史文化館「久野城展」案内チラシ
- ・ 袋井市立図書館だより「ふくぶっく」平成30年10月号

8 閉会

(午後3時40分閉会)